

## 7. 教育の振興

### (1) 現況と問題点

#### ア 学校教育

##### 1 小学校教育

泊小学校は昭和62年度に全面移転し、自然豊かな環境の中に木の香りが溢れ、日本瓦屋根の新しい校舎を建設しました。子どもたちが、均等かつ安心して教育が受けられるよう施設をバリアフリー化したほか、多目的トイレや運動場に照明を設置するなど、充実した施設整備を図ってきていますが、築後23年以上が経過し、各所に補修の必要性があります。

1学年2学級を想定した施設は、人口減少及び少子化等に伴って児童数が減少し、建築当初は266人だった児童数が、平成16年度には176人、平成21年度には168人と減少しました。一方で、平成22年度は181人に増加し、少人数学級の導入や特別支援学級の設置も伴い、学級数は11クラスとなっています。今後も10クラス程度で推移していくものと見込まれます。

また、児童の健全育成や地域に開かれた学校づくりの視点から、空き教室の一部を放課後児童クラブとして利用しています。

泊小学校では従来から総合学習に力を入れており、特色ある学校づくり事業として、国際交流事業、勤労生産事業、体験学習事業等に取り組んできましたが、より一層の推進を図り、人間性豊かな元気な泊っ子の育成に取り組めます。

加えて、ボランティアによる本の読み聞かせや朝読書の推進により、読書習慣を身につけさせ、生きる力とつなげていくための学校図書室の果たす役割は大きく、蔵書の充実により読書活動のさらなる推進が必要です。

さらに、原及び宇谷地区から泊小学校まで通学する児童が通学のために利用する一般乗合旅客自動車の定期券購入費を補助し、遠距離通学を行う児童の円滑な就学を継続支援します。

#### ●泊小学校児童数及び学級数推移

(毎年5月1日現在)

区分	年度						
	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
児童数(人)	168	181	183	165	167	145	130
学級数(級数)	9	11	11	10	10	9	9

(庁内資料：教育総務課)

##### 2 中学校教育

湯梨浜町立北浜中学校は、昭和47年度に旧北条町・旧泊村・旧羽合町の組合立として設置されました。平成7年度には旧北条町が分離独立し、さらに平成16年10月には旧泊村と旧羽合町が合併したことにより、湯梨浜町立として再スタートを図りました。組合立として設立した当初の生徒数は811人、現在313人(平成22年度)ですが、今後数年間は330～340人、11学級程度での推移が見込まれています。

泊地域の生徒の通学の安全を図るため、スクールバスが導入されていますが、現在運行している2台のバスは、ともに平成3年8月に購入されてから20余年が経過しているため、この2台を年次計画的に新規購入することで、継続して泊地域の生徒の通学の安全と通学の不便さの解消を図る必要があります。

施設整備については、平成9年度から10年度にかけて大規模改造を行いました。築後38年

が経過しているため各所老朽化が激しくなっており、安全・安心に教育が受けられるよう改修等の維持管理に万全を期す必要があります。また、平成21年度に耐震診断を実施したところ、技術棟を除く棟には耐震性がないことが判明し、施設全体のあり方を検討する必要があります。

●北溟中学校生徒数及び学級数推移

(毎年5月1日現在)

区分	年度	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年
生徒数(人)		331	313	325	343	341	354	342
	うち旧泊村生徒数	89	78	70	83	81	99	84
学級数(学級)		13	11	12	12	11	11	11

(庁内資料：教育総務課)

## イ 社会教育

### 1 社会教育

住民一人ひとりが生涯にわたって積極的に学習し、個性を活かしながら生活することは、豊かな人間性を育み、心身ともに健康でたくましい人づくり、ひいては明るく豊かな地域づくりにつながります。

住民の生涯にわたる学習要求に応え、文化の向上を図るため、住民の要望を十分に把握しながら、対応する体制や環境整備を進めていく必要があります。

中央公民館泊分館は、引き続き生涯学習施設として幅広い活用を促すとともに、住民の学習の場として提供します。また、公民館運営審議会を中心として、公民館の今後のあり方についての検討を行います。

しおさいプラザとまりは、多くの地域住民に利用していただいておりますが、利用者の学習要望に応えるためには、さらに内容の充実を図っていく必要があります。そのため、関係機関との連携を深め、地域住民の学習や憩いの場として、より一層親しまれる施設づくりが必要です。

青少年の家は、学校の長期休業中の利用が大半ですが、年間を通して青少年の宿泊体験等の活動ができる体制づくりが必要です。

### 2 社会体育

スポーツ・レクリエーション活動の振興は、健康増進と同時に住民相互のふれあいや地域連帯意識の高揚など、地域社会の形成に大きな役割を果たしています。

今後も多くの住民がスポーツに親しむことにより健康を増進し、併せて競技力の向上を図るため、施設整備や団体育成、指導者養成に取り組む必要があります。

また、泊体育館の屋根改修が終了したことにより、屋内スポーツ施設としての利用が可能となりましたが、野球場やテニスコートなど、屋外スポーツ施設の利便性の向上と利用促進に向けて必要な修繕を図りながら、その維持に努めます。

## (2) その対策

### ア 学校教育

#### 1 小学校教育の振興

泊小学校は「潮風の中でたくましく」を教育理念とし、恵まれた自然の中で心身ともにたくましく心豊かな児童を育成していこうと、総合学習等の取り組みを展開してきました。

本校は、この総合学習に全国的にもいち早く取り組み、自然環境保護の体験学習として校内に小川や池を造ったり、生き物の飼育を通して生命の大切さを学んだり、学校農園でサツマイモやトウモロコシ、梨等の栽培活動を行うなど、その取り組みを推進してきました。保護者や地域住民の理解と協力のもとに、今後も心身ともにたくましい児童の育成をより一層推進します。

昭和62年度に全面移転によって新しく建築した学校施設は、築後、相当な年数が経過したことから各所に改修や改善を要する箇所が出てきたため、児童の安全性を確保するためにも早急な修繕等を行います。

## 2 中学校教育の振興

思春期にあり、人間形成の上で最も重要な年代の中学生は、心身ともに大人に向かう大切な時期です。自己を確立しようとする反面、多感で情緒不安定な一面を有していますが、将来の目標を持ち、地域に生きる力を育むための中学校教育の役割は一層重要となっています。

北溟中学校には教育相談員を非常勤配置し、スクールカウンセラーの派遣も行っており、生徒や保護者の様々な相談・助言にあたるとともに、不登校対策や諸課題の解決については、保育所や幼稚園、小中学校等関係機関が互いに連携し、その対応にあたっています。

今後も家庭や地域を含めた関係機関との連携により、生徒が安定して学習に取り組み、充実した学校生活を送ることで、各々が将来を切り開いていく力を養うための一層の支援体制の充実を図ります。

泊地域の生徒の通学手段である2台のスクールバスは、今後車両の老朽化対策が急務となっており、年次計画的に新規購入し、引き続き通学の安全と不便さの解消を図ります。

北溟中学校は、築後、相当な年数が経過し、各所の老朽化が激しくなっているため、生徒の安全確保はもとより、安心して教育を受けられる環境を維持することが必要です。また、技術棟を除く棟には耐震性がないため耐震補強工事が急務ですが、生徒数の減少等により学校運営に支障をきたすことが予想されるため、統合も視野に入れて検討します。

## イ 社会教育

### 1 社会教育の振興

住民の学習要求が多様化する現在、生涯学習の振興は欠かすことのできない施策です。行政はもとより、各種機関や団体と連携しながら、生涯学習の振興を図ります。

泊分館で開催されている放課後子ども教室は、子どもたちの健全育成のみならず、地域の人材の活躍の場となっており、今後ともより一層の支援を行います。

また、しおさいプラザの貸出冊数が減少傾向にあります。レファレンスサービスの充実を図り、利用者の増加に努めます。

青少年の家については、施設の耐震診断と必要な修繕を実施し、青少年活動施設として青少年の健全育成及びその他社会教育の振興を図ります。

### 2 社会体育の振興

健康で生きがいのある地域社会を形成するため、生涯にわたるスポーツの普及が必要です。そのため、グラウンド・ゴルフの普及はもとより、各年代に応じて気軽に取り組めるニュースポーツの普及を推進します。

また、利用者の声を十分に聞きながら、利用者の視点に立った既存設備の維持管理に努めます。

(3) 事業計画 (平成22年度～27年度)

自立促進施策区分	事業名 (施設名)	事業内容	実施主体	備考
6. 教育の振興	(1) 学校教育関連施設 スクールバス	北溟中学校スクールバス購入事業 老朽化に伴い <u>2</u> 台更新	湯梨浜町 教育委員会	
	(3)集会施設、 体育施設等 体育施設	スポーツ施設整備事業 施設の耐震診断 野球場修繕事業 内外野の平坦化		
	(3)集会施設、 体育施設等 図書館	図書室 (しおさいプラザとまり) 整備事業 空調設備改築工事		
	(5)その他	青少年の家整備事業 施設の耐震診断、修繕		

【過疎地域自立促進特別事業分】

自立促進施策区分	事業名（施設名）	事業内容	実施主体	備考
6. 教育の振興	(4)過疎地域自立促進特別事業	特色ある学校づくり推進事業 泊小学校総合学習の充実 勤労生産学習・水産教室・ 国際交流等	湯梨浜町 教育委員会	
		遠距離通学児童通学費補助 原及び宇谷地区から泊小学校まで通学する児童が通学のために利用する一般乗合旅客自動車の定期券購入費を補助		
		図書室（しおさいプラザとまり）整備事業 視聴覚資料整備 視聴覚資料購入 児童用、教育 DVD 200 枚 クラシック音楽 CD 200 枚 文学 CD 200 枚 視聴覚資料（映像用）閲覧デスク 2 台 視聴覚資料閲覧機器 2 台 視聴覚資料架（棚） 2 台 図書資料購入整備 一般、児童図書 6,000 冊 閲覧用情報機器整備 閲覧用インターネット機器 1 台 閲覧用インターネットデスク 1 台		
		コンピュータ機器等更新 （泊小学校・北浜中学校） 教育用・校務用・事務用		
		中央公民館泊分館振興事業 各種生涯学習活動の推進		
泊小学校グラウンド芝管理事業 芝刈、芝散水、病害虫駆除等 9, 8 2 5 m <sup>2</sup>				